



BEGIN NEWSPAPER

since2002

2024 vol.2

2024/11/15 発行

第30回世界少年野球大会 大野城市フェアウェルパーティー(2024.8.2)

第30回世界少年野球大会が福岡県で開催され、13の国・地域と日本全国から参加した子供たちが、大野城市を含む9市町で、野球教室や文化体験などを通して交流しました。協会は市の委託を受け、オーストラリア・中華北・日本の子供たちのフェアウェルパーティーを総合福祉センターにて開催しました。



フェアウェルパーティーには、10~11歳の子供たちとシャペロン(付き添い)、スタッフなど合わせて50名余りが参加しました。それぞれの国・地域の子供たちが歌やダンスなどを披露し、日本の伝統的な遊び「福笑い」をはじめ、ちぎった新聞の長さやひっくり返したカードの数を競うゲームを楽しみました。「創人エイサー守破離太鼓」の皆さんによるパフォーマンスの後、太鼓を借り一緒に演奏して盛り上がりました。帰り際に子供たちにパーティーで楽しかったことを尋ねると、「フクワライ」「タイコ!」などと笑顔で答えてくれました。



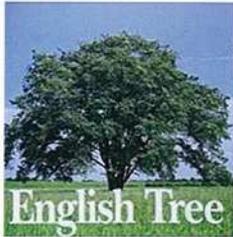
★世界少年野球大会とは……

日米のホームランキングである王貞治氏とハンク・アーロン氏が提唱し「正しい野球を全世界に普及・発展させると同時に、世界の少年・少女たちに友情と親善の和を広げよう」と、1990年の第1回大会(ロサンゼルス)以来毎年夏に開催されてきました。コロナ禍による中断を経て、今年は5年ぶりの開催となりました。

● 英語道場 (2024.9.10~11.12)

今年も英語道場(8回シリーズ)が総合福祉センターにてスタートし、理事のリビングストーン道場主のもとに8名の門下生が集まりました。テキストによる会話でよく使う

表現の学習のほか、ペアになっての会話練習やゲームなどを通して楽しく学んでいます。



テキストは、日本の晶一さん夫婦の隣にカナダ人のジョンさん夫婦が引っ越して来たところから始まり、仕事や趣味・ペットなど身近な話題が出てきます。

道場主が好きな食べ物を
“Is it ~?” と質問して行って
当てるゲームをしました。

● ことばの交流ひろば

「ことばの交流ひろば」では、「日本語学習支援」と日本語学習の後に協会員との交流を通して日本の生活習慣を学ぶ機会を設けています。

9月14日のテーマは「お月見」で、日本語学習者もかわいいウサギづくりに挑戦しました。ウサギやお供え用の三宝を色紙で作り、お団子を飾りました。

10月5日のテーマは「災害時の救助の仕方」で、AEDの使い方などを指導員の方から学びました。



● 第42回 おおの山城大文字まつり(2024.9.21-22)

今年も「おおの山城大文字まつり」が大文字公園とその周辺で開催されました。協会は例年通り献火式にアテンドとして参加したほか、今年は新たに市からのステージパフォーマンスの依頼を受け、OISCA西日本研修センターの研修生の皆さんを招いて、歌と民族楽器演奏・ダンスを披露しました。



【献火式】

日本語教室受講生のロバーツさん(アメリカ)・程さん(中国)・コアさん(ベトナム)が、市長を含む5名による献火のアテンド(サポート)をしました。当日は一時強い風雨に見舞われましたがレインコートを着てのリハーサルを行い、本番には雨も止んで完璧なサポートぶりを見ることができました。

【ステージ】

OISCA(オイスカ)シャツで登場した研修生の皆さんが、パプアニューギニアの歌と民族楽器の演奏、フィジーとインドのダンスを披露しました。珍しい民族楽器の響きと元気あふれる声と動きが会場の注目を集めました。



＜献火アテンドの皆さんの感想＞

「やり方がわからなかったのですが、最初はとても緊張しましたが、火をつけるときはとても楽しくなりました。」「去年は祭りを見るだけでしたが、今年は参加できました。初めてのことで上手にできるかどうか心配で、ちょっと緊張しました。でも係の人がいろいろ教えてくれてうまくできました。とても良い体験でした。」



今回登場した民族楽器は、パプアニューギニアと周辺(メラネシア)の竹を束ねた打楽器で、バチはゴムのサンダル等を使うそうです。人工のパイプで作られることもあります。



今さらですが…

まつりホームページ(<https://ono-daimonnji.com>)の動画によれば、「大野城市の市名の由来である日本最古の山城『大野城』を守り伝える市民のまつり」であり「市民の総力を結集して祭りを興し、郷土愛の絆を育み、市民の連帯(コミュニティ)の基盤である『まどかの気風』を醸成するとともに、大野城市の伝統形成のための一角となることを期する」ものとされています。

協会が毎年参加している献火式は、まつりにおける一連の火の儀式の一部です。「採火式」では古の山城が眠り、まつりのシンボルである「大」の文字が灯る四天王山で、太陽からレンズで火を採ります。この火は「献火式」でまつり会場の陽火台に献火された後、4つのコミュニティに分火され、祭り最終日に再度集結して「まどかの火」となるのです。

INFORMATION CORNER



OIEA Onojo-city International Exchange Association

～協会事務担当者が替わりました～

2024年6月から国際交流協会の事務を担当されていた伊藤さんが、ご都合で10月25日で退職されることになりました。協会事業の繁忙期に大変お世話になりました。後任の事務担当に佐竹直美さんを迎えました。よろしくお願いいたします。

伊藤さんからのご挨拶です

6月より雇用していただいておりますが、個人的事情で故郷の長崎に帰ることになりました。短い間でしたがお世話になりました。

Other organizations News & Event

Fukuoka Oversea Students Association 福岡県留学生会

2024年11月17日(日) アクロス福岡B1Fのイベントホールにおいて、留学生による「文化ショー」が開催されます。福岡県内の大学等に通う留学生の皆さんの自国の歌や踊り、楽器の演奏などが行われます。



第16回オイスカ収穫感謝祭・秋 開催!

日時 2024年11月9日(土)
10:00～15:00 (雨天中止)
会場 公益財団法人オイスカ西日本研修センター
(福岡県福岡市早良区小笠木678-1)
参加費 500円/人の募金

～ 出展内容 ～

アジアンフードと地元の皆さんの出店によるバラエティに富んだ屋台村です。
(ケバブ、焼き芋、モチ、シシ汁)



編集後記

夜になっても気温が下がる気配のない地球沸騰を感じる夏も、やっと9月末ころからは徐々に終わりを迎え、涼しい風が心地よく感じられるようになりました。会員の皆様方も今年の夏は今までとは異なる体調管理で大変だったことでしょう。しかし時間は流れ「食欲の秋」「スポーツの秋」の到来です。footwork 軽く前へ進みましょう! 前進です!!(O)

大野城市国際交流協会事務局:市役所3階 コミュニティ文化課内

Tel 090-2067-3173

Fax 092-573-7791

e-mail begin@city.onojo.fukuoka.jp